

ま ち の 話 題

豊 岡

EM土団子で川の浄化実験 円山川きれいになあれ



▲川の浄化を願ってEM土団子を円山川廃川に投入する参加者

9月8日、「いい円山川川のせんたく大作戦」と題して、大磯町の円山川廃川にEM(有用微生物群)土団子を投入する浄化実証実験が行われました。これは、まちの開発・発展と生活様式の変化とともに汚れが目立つようになった河川を、以前のような美しい川へ蘇らせようと、豊岡環境衛生推進協議会により立案・実施されたものです。当日は、同協議会の会員ら約30人が、約1、650個のEM土団子を次々と円山川へ投入しました。

同協議会の会員らは、「こうした活動がまちを美しくする住民運動のきっかけになれば」と期待を込めていました。

城 崎

風情あふれる 城崎の秋の夜を満喫

城崎温泉観月と童謡の夕べ

秋の夜長を迎えた9月8日、城崎温泉では、大谿川に架かる太鼓橋を舞台にして、「観月と童謡の夕べ」が開催されました。これは、秋の満月に照らされた城崎温泉の夜を素朴に演出しようとして、4年前から城崎町商工会が取り組んでいるイベントです。

太鼓橋や7つの外湯には、ススキと月見団子が飾られ、日没後には、太鼓橋の上で地元住民の皆さんが、琴や鼓弓、尺八、クラリネットなどの演奏や「ふるさと」や「里の秋」などの懐かしい童謡を合唱で披露しました。行き交う住民や観光客は、しばし足を止め、風情あふれる雰囲気を楽しむまで味わっていました。



▲太鼓橋で美しい歌声を披露する地元住民の皆さん

竹 野

夏休み最後の 思い出づくり

竹野すくすく祭り

8月25日、竹野児童館で第1回竹野すくすく祭りが開催されました。

この事業は、竹野児童館、竹野子育てセンター、地元の母親クラブが中心となって、地域みんなが交流を深めることにより、地域全体で「子育て」を共感するきっかけになればと開催されたものです。

当日は、子育てセンター、母親クラブ会員の手作りによる「そば飯」や、中学生によるヨーヨー釣りなどのコーナーが設置されるとともに、誰でも参加できるダンスやジャンケンゲームなどが行われ、子どもも大人も、楽しいひと時を過ごしていました。



▲手作りのゼリーを受け取る子どもたち。祭りは多くの親子連れでにぎわった

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報係までご連絡ください。

日高

鶴岡八朔祭り

地域に息づく相撲行事

8月27日、日高町鶴岡地区の妙光寺で、八朔祭りが行われました。八朔とは、旧暦の8月1日のことで、同地区では、毎年、五穀豊穡と子どもたちの健やかな成長を願い、相撲に関する行事が行われます。

当日、大勢の観衆が見守る中、地元小学生約30人が奉納相撲で熱戦を繰り広げ、化粧回しを付けた赤ちゃん15人が地元の相撲甚句保存会のメンバーに抱えられて土俵入りすると、境内は、笑顔と歓声に包まれました。また、最後、同保存会が地域に伝わる伝統芸能「相撲甚句」を披露すると、奉納相撲に参加した子どもたちや観衆は、神妙に聞き入っていました。



▲相撲甚句を披露する相撲甚句保存会のメンバー

出石

愛宕火祭り

勇壮な火振りに 無病息災を祈る

8月27日、晩夏の夜を焦がす愛宕火祭りが、中村地区の伊福部神社で行われました。この火祭りの一番の見どころは、荒縄で束ねた麦わらに火をつけて振り回す勇壮な火振りで、

当日の夕刻、まず、少し離れた愛宕神社で木と木をすり合わせて火起しの儀が行われ、起された火が地元の若者たちによって会場周辺に備え付けられた松明に火を移しながら、伊福部神社前へ運ばれました。その後、地元奉賛会のメンバーや一般参加者たちがこの火を麦わらに付けて振り回し、幻想的な炎の輪を描きました。訪れた観客らは、勇壮な火振りの炎に家族の無病息災や厄除けなどを祈っていました。



▲火祭り太鼓が打ち鳴らされるなか行われた、勇壮な火振り

但東

田んぼアート

はばタンがお出迎え

9月1日、但東町奥藤地区内の田んぼに、のじぎく兵庫国体のマスコット「はばタン」を描いたアートがお目見えしました。

これは、奥藤古代米生産組合が兵庫国体の機運を高めるため、約10アールの田んぼに、赤米や黒米の古代米など4種類を使って描いたものです。同組合長の羽尻司郎さんは「初めての試みで田植えの際、はばタンの形作りは苦労しましたが、色鮮やかに浮かび上がりました。国体とともに古代米のPRにつながることを願っています」と話していました。

なお、このアートは、国体が開幕する9月30日ごろまで見ることがができます。



▲田んぼに出現した巨大はばタン。9月10日には、赤米、黒米、コシヒカリ米で作られた3種類のおにぎりが振舞われた